

V・チャレンジリーグ I 2017/18 レギュラーラウンド 男子 佐久大会

VC長野 1日目は首位に完勝 2日目もフルセットの激戦を制す

【佐久平協会 指導普及委員長：遠山潤一／競技委員長：野口清二】

2月10日（土）、VC長野トライデンツ（以下「VC長野」）は首位を走る富士通カワサキレッドスピリッツ（以下「富士通」）と対戦しました。VC長野は年が明けてから7連敗。今シーズン開幕当初に6連勝した勢いはすっかり影を潜め、とうとう黒星の方が先行してしまうという苦しい状況でした。



第1セット、富士通は中川がライトやバックライトから強烈なスパイクを打つのに対し、VC長野はレフト：峯村、オポジット：小林、ミドルブロッカー：森崎を中心にトスを散らして対抗。終盤に入ると、サウスポー：小林のライトからの攻撃とジャンピングサーブが効果的に決まり、VC長野がこのセットを先取しました。

第2セットは序盤から峯村が相手ブロックをよく見てスパイクを打ち分け、中盤にはミドルブロッカーの田中がセンターからのクイックを連続して決めるなど、VC長野が流れをきっちりキープ。富士通も浅野・岩井のレフト攻撃で追い上げを見せましたが、最後はVC長野のキャプテン：栗木がレフトから二段トスを力強く打ち切ってセットを連取しました。

第3セットに入ると一転、序盤は富士通ペース。しかしVC長野も、峯村・栗木の両レフトが相手ブロックを上手くかわして粘り強くスパイクを打ち続け、更には森崎のブロックやクイックなども出て徐々に挽回。終盤はお互い点の取り合いとなりましたが、この日のVC長野は最後まで集中力を切らすことなく、富士通にストレート勝ちし、久々の白星をゲットしました。

翌11日（日）は、前日の試合でフルセットの末、大逆転勝ちを収めた大同特殊鋼レッドスター（以下「大同」）と対戦でした。

第1セットの序盤は、お互いのセンター線の探り合いから12-12まで接戦でしたが、中盤、ジャンピングサーブやバックアタックなど峯村が爆発。VC長野が試合の主導権を握りました。終盤に入ってもVC長野はミドルブロッカーの田中がブロックで加点し、一気に試合を決めました。

第2セットは一転して大同ペース。序盤では伊澤がレフトから、中盤には木村がライトやバックから連続してスパイクを決め、一気に流れを引き寄せました。一方、VC長野は森崎頼みの単調な攻撃となってしまう、反撃の糸口をつかめないままセットを奪われました。

第3セットに入ると、VC長野は森崎を攻撃の軸にし、対する大同は久保田とサウスポーの田中にボールを集めて、終盤まで接戦となりました。しかし、最終盤で活躍が目立ったのはVC長野の小林と峯村。それぞれ力強いスパイクを決めて、勝利に王手をかけました。

第4セット、VC長野は立ち上がり、レフトからの攻撃を決めきれず、対する大同特殊鋼はブロックやクイックで着実に加点。要所ではレフトからもスパイクを決めてVC長野に付け入る隙を与えず、セットカウントをタイに戻されてしまいました。

勝負のファイナルセット、序盤は峯村と森崎のジャンピングサーブで攻め込み、VC長野が11-6と引き離しに成功しました。勝負あったかに思われましたが、大同の攻撃陣が息を吹き返し、縦横無尽に移動しながらスパイクを決めてデュースに持ち込まれてしまいました。しかし、最後はVC長野の峯村

がレフトから渾身のスパイクとジャンピングサーブを連続して決め、フルセットの激闘に決着をつけました。

この佐久大会の2連勝で、V C長野は再び白星が先行することになりました。残り試合も僅かになりましたが、トンネルを抜けた感がありますので、少しでも勝ち星を積み重ねて行って欲しいものです。

2017/18VチャレンジリーグII男子須坂大会

長野 GaRons 1位の北海道から勝利をもぎ取るも近畿には完敗

【須高協会 矢澤 憲】

2月3日(土)、4日(日)の2日間、VチャレンジリーグII須坂大会が須坂市民体育館で行われました。長野 GaRons にとっては今シーズン2度目のホームゲームでした。2日間で約1000人を超える観衆が熱い声援を送りました。

3日(土)は現在チャレンジリーグIIで1位のヴォレアス北海道との対戦でした。現在6位ながら地元の応援を受けて11月にホームゲームで0-3と惜敗している相手にリベンジしたい長野 GaRons。

第1セットのスタートは北海道にリードされましたが、長野 GaRons も粘りを見せました。終盤まで互いに譲らない試合展開でしたが、北海道が25-21でこのセットをとりました。



第2セット、長野 GaRons はオポジットを濱田に変え、リズムをつかみます。中盤、長野 GaRons は清水が連続ブロックを決めるなど、6連続得点により一気に流れを掴み、25-15でこのセットを奪いました。

第3セット、北海道がリズムを取り戻して序盤でリードを広げましたが、長野 GaRons も粘りのプレーを見せました。7点差を追いつき、終盤6連続得点で逆転。勢いに乗って25-23で接戦をものにしました。

第4セット、長野 GaRons が序盤からリードして試合が進みました。北海道は18-18で追いつきましたが、大事な場面でミスが出ました。長野 GaRons は松橋のサーブやスパイクで北海道を突き放し、25-21でセットを奪いました。

この結果、セットカウント3-1で長野 GaRons が、リーグ1位の相手から今シーズン地元大会初勝利をもぎ取り、会場は勝利の熱気に包まれました。

4日(日)は、ここまで9勝3敗でリーグ3位と、安定したプレーで波に乗っている近畿クラブスフィードとの1戦でした。長野 GaRons は、昨日に続いての地元大会2連勝を狙いました。

第1セット、中盤までやや近畿にリードされつつも一進一退の試合展開でした。終盤、近畿クラブは小林(空)の的確なスパイクやピンチサーバー大原の好サーブで長野 GaRons のレシーブを崩し、連続5得点で25-18と試合を決めました。

第2セットも終盤までサイドアウトを繰り返し、互いに譲らないゲーム展開でした。終盤、長野 GaRons は清水のサービスエースで24-22とセットポイントを掴みましたが、またも小林(空)のスパイクなどで近畿クラブが連続得点。デュースに持ち込まれ、最後は長野 GaRons にミスが出て27-25で近畿クラブに2セットを連取されました。

第3セットの序盤、長野 GaRons はサーブミスで流れを掴めませんでした。中盤以降、近畿クラブは



サーブで崩し、ブロックで的を絞るなどして5連続得点で試合を決定づけました。長野 GaRons は藤井、清水のスパイクで追いつがるも 25-18 でセットを失い、セットカウント0-3で近畿クラブに敗れました。

試合後、北沢監督は、「北海道との試合は、チームの気持ちが一丸となってリベンジしたいと臨み、良いゲームができた。近畿との試合は、選手一人一人の気持ちが一つになりきれず、相手の高さでサーブにやられてしまい、自分たちはサーブミスが多く負けてしまった。今シーズンの残り4戦。余り大きくない自分達が勝つために、サーブとブロックを調整していく。ワンタッチをとってから切り返して点を取っていくことを中心に調整する。」とシーズン終盤への意気込みを話してくれました。

平成 29 年度 第8回全国6人制バレーボールリーグ総合女子優勝大会

セイコーエプソンが地元の声援を受けて2連勝を飾る

【塩尻市曾協会理事長 村上公彦】

標記リーグは、本年度は東京、愛媛、長野、福井において試合が行われます。

長野大会は2月24日（土）と25日（日）、塩尻市立体育館で開催されました。

本リーグ戦には、セイコーエプソン（以下「エプソン」）と本年度からルートインホテルズブリリアントアリーズ（以下「ルートイン」）が参加しており、24日（土）に両チームが対戦して熱戦を繰り広げました。

1セット目は、ルートインがセッター西堀を中心にサイドから小坂、平岡、町田がスパイクを決めてペースを掴みました。エプソンも追い上げましたが、最後は 25-23 でルートインがこのセットを取りました。



第2、3セットは、エプソン平谷、邑上のサイド攻撃と仲村、小池のセンター攻撃が決まり、25-18 と 25-23 エプソンが連取しました。

4セット目、ルートインはやや疲れが見えてきた町田に替えて高橋を投入。巻き返しを図るも、途中出場のエプソン小宮山のスパイクが決まるなどして流れは変わらず、このセットを 25-19 で取り、セットカウント3-1でエプソンが勝利を収めました。

本長野大会の県内チームの試合結果は、以下の通りです。



| | | | | | |
|--------|---|-----------|-----|-----------|---|
| 24日（土） | ○ | セイコーエプソン | 3-1 | ルートインホテルズ | × |
| | × | ルートインホテルズ | 1-3 | 三菱東京UFJ銀行 | ○ |
| 25日（日） | ○ | セイコーエプソン | 3-0 | ベネビアス新潟 | × |
| | × | ルートインホテルズ | 1-3 | ビクトリーナ姫路 | ○ |

北信越新人大会“創造”として最後の大会を優勝で終わられました



【創造学園高校男子バレー部監督 壬生義文】

今年の北信越新人大会は北陸、石川県金沢市で開催されました。

昨年の福井大会同様、今年も大変な大雪の中での大会となり、金曜日の開会式には福井県チームは全チームが参加できないような状況でした。

結果は、何とか「優勝」することができました。

現時点では、素人同然のセッターが、ただ単にレフトに平行を上げ続け、それをタイプの異なる両エースが高い打点から叩き込む。ブレイクの主たる得点源は、サーブとブロックのみ。強いジャンプサーブで崩して高い組織ブロックで押さえこむという、ただそれだけの単純なバレーです。セットの途中に何回も大崩れする場面があって、相手に易々と点数を献上してしまう率はかなり高く、計算できない状態での戦いでした。

「シンプル・イズ・ベスト」とはいえ、これで北信越を勝てるとは思いませんでした。他チームの方が完成度はかなり高かったように思います。もしかしたら「創造」のユニフォームで戦う最後の大会（4月からは校名変更で「松本国際高等学校」になるため）だったが故に、神様が勝たせてくれたのかも知れません。

しかし、創造としては久しぶりのオーソドックスなバレーで、これからここにコンビやレシーブを肉付けしてゆけば面白くなるかもしれません。

この冬場の練習で十分に力をつけ、春には一回りも二回りも大きく逞しくなってくれることを期待しています。変わらぬ御支援を宜しくお願い致します。



男子はOKAYA 女子は大町クラブが優勝を飾る

【県クラブ連盟理事長 桑原康秀】

2月11日（日）に大町市運動公園総合体育館において標記大会が開催されました。



この大会は、北信越クラブバレーボール連盟が9人制クラブチーム強化のため開催する北信越大会の県予選会として本年度で12回目を迎えました。

北信越大会には男女各2チーム（女子は補填により3チーム）の出場権が与えられており、男子は2チーム参加であったため、大会自体が順位決定戦的なものとなりました。優勝は「OKAYA」、準優勝が「駒ヶ根クラブ」で、それぞれ北信越大会へ出場します。



女子は5チームの参加で優勝の「大町クラブ」、準優勝の「六文銭」、3位の「Through」が北信越大会へ出場します。また、男子の「大町クラブ」は前年度の北信越大会優勝チームで、今年度の大会への出場権を得ております。

北信越大会は3月24日（土）・25日（日）に新潟市で開催されます。

北信越9人制クラブバレーボールチームの頂点を目指して健闘をお祈り致します。

第2回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル in 町田

チーム翔舞が全勝で2年連続優勝を果たす！

【県ソフト連盟理事長 中山芳一】

第2回全国ソフトバレー・フリーフェスティバルが、2月17日（土）～18日（日）の2日間、東京町田市において、全国から48チームが参加して開催されました。

長野県からは前年度優勝したチーム翔舞とチーム Raise の2チームが参加しました。

予選リーグ1は、A～Dの4つのブロックに分かれ、1ブロック12チームが更に3コートに分かれて、4チームによるリーグ戦を行いました。

チーム翔舞は、第1試合で茨城県の Smiley を2：1で、第2試合は大阪府の purimama を2：0で、第3試合も群馬県の MVC・和を2：0で下し、3連勝で1グループになりました。

チーム Raise は予選第1・第2試合を勝ったものの、3試合目で富山県の芝園クラブに1：2で惜しくも敗れ、2グループになりました。

チーム翔舞は、各ブロックの1位同士3チームのリーグ戦である予選リーグ2で福岡県のエトワールと愛知県 WING をそれぞれ2：0で破り、このブロックの1位となって、2日目の決勝リーグに進出しました。



最終日、1位同士の決勝リーグに臨んだチーム翔舞は、先ず富山県の芝園クラブを2：0で下し、続く千葉県のSAIWIにも2：0で勝利。最終試合でも、福岡県の南ZEROを2：1で破り、見事全勝で2年連続優勝を果たしました。

平成29年度 全国指導普及委員長研修会 報告

【県指導普及委員長 三村公二】

2月24日（土）～25日（日）、東京にて開催されたJVA主催の全国指導普及委員長・加盟連盟指導普及委員長会議・研修会に参加して参りました。

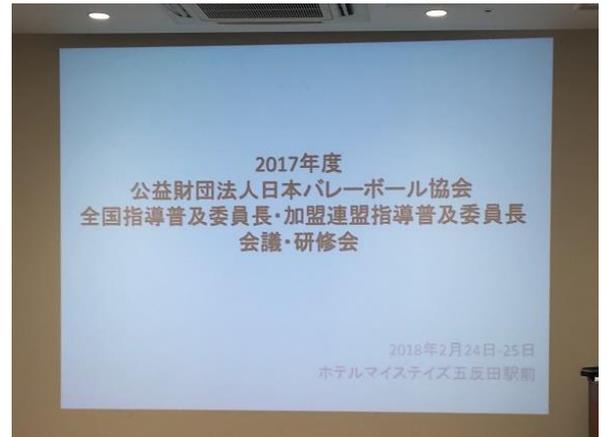
研修会では、JVAの組織改編についての伝達や今後の強化と普及に対するアプローチについて、また中垣内全日本男子監督による今後の活動方針についての講演がありました。更に、指導者研修に向けて、効果的な研修のあり方についての講義がありました。

JVAの指導普及委員会の組織改編については、ハイパフォーマンス事業本部内にハイパフォーマンス推進部とデベロップメント推進部が置かれ、デベロップメント推進部内に発掘育成委員会・指導者養成委員会・競技者拡大委員会が置かれる形になりました。今回の改編についてはあまり周知されていることもなかったため、その伝達がありました。今後の活動については、今までの活動と大きく変わることはないと思われま

す。また、2017年度は日本体育協会公認スポーツ指導者制度の改定が行われる予定でしたが、1年先送りとなりました。資格の失効も多くあることも懸念です。現在の資格も継続されていきますので、資格の更新を忘れないようよろしくお願い致します。

2日目は、今年度の活動報告や来年度の活動計画についての話がありました。組織の改編もありましたが、来年度も今年度同様の活動がなされることとなります。また、ブロック毎に活動の問題点等話し合う時間もありました。北信越ブロックでは各県の現状や課題等を出し合い、今後に向けてどのような活動ができそうか話をしました。各県とも若年層でのバレーボール人口の減少を受けて、未経験者をどのように取り込んでいくか、小中・中高の連携をどのようにとっていくかが課題となっている様子でした。

2020年東京オリンピックに向けた活動は勿論ですが、その後のバレーボール界が先細りすることのないように一丸となって進んでいくことが必要であり、我々の課題であると強く感じました。



平成30年度 新MRS登録及び登録料について伝達説明会を開催

【県総務委員長 内山政則】

標記説明会を2月24日（土）、塩尻市市民交流センター（えんぱーく）にて開催致しました。今回は、公益財団法人日本バレーボール協会において、来年度より個人登録システム（MRS）運用変更に伴う富山県においての説明会を受けての伝達説明会となりました。

説明会の講師は、競技委員会の山崎委員と事務局の白鳥主事に務めて頂きました。参加連盟はクラブ・ビーチ連を除く6連盟。委員会は総務・競技委員会で、計22名の参加がありました。

主な変更点は下記の通りです。

- 1 配賦方式から積算方式への変更
- 2 JVA登録料について
- 3 複数所属者の支払額について
- 4 加盟団体の登録料の取り扱いについて
- 5 収納代行手数料の支払者負担、収納代行会社から加盟団体への直接振込について



今回は、3月19日（月）から始まるチーム・メンバー登録に向けてJVA-ID取得及び変更点5についての説明が中心となりました。目の前に迫った受付開始を控え、各連盟代表者は積極的に質問しながら受講しました。

今後はJVAホームページを参照し、不明部分がありましたら事務局等に質問をお寄せ頂き、登録に遺漏の無いよう手続きを進めて頂けますようお願い致します。

平成 29 年度総務委員会を開催

【県総務委員長 内山政則】

平成 29 年度総務委員会を2月24日（土）、塩尻市市民交流センター（えんぱーく）にて開催致しました。今年度は、新MRS登録の変更に伴う伝達説明会に参加した後の会議となりました。

内容は、大会フローの確認、決算書作成申し合わせ、大会予算、協会ニュース作成等についてでした。主に委員長の方から説明致しましたが、今年度初の会でもあり、建設的な質疑・意見等多く出されて充実した会議となりました。その中でも、高校体育館の借用料についての共通理解や、県協会主催大会の役員一覧表を必ず県協会に事前提出すること等を確認しました。

更に総務委員会として大会収益を少しでも上げるため、松本協会の経験から春高一次ラウンド等で大会プログラムを準備したらどうかなど様々な意見交換が出来ました。

事務局からは、大会収支予算報告について、監査する時に出来る限り分かり易い記載をすること、領収書も明細がある程度分かるようにとの依頼がありました。

最後に当委員会は、地味で縁の下で支える内容が多い訳ですが、長野県バレーボール協会発展のため更なる尽力をとのまとめを和田副委員長にして頂きました。

今年度第2回目の競技委員会が開催されました

【県競技副委員長 吉川 豊】

2月24日（土）、今年度2回目の競技委員会が塩尻市で行われました。今年度の反省と来年度の競技運営等について話し合いを行いました。



今年度の反省点としては、13地区対抗大会の中でもU-14大会は参加チームも多く盛り上がりを見せているが、U-12大会や、一般の部においては参加チームが少ないことから、更に各地区への働きかけを行うことを確認しました。

来年度の競技日程や競技委員会の基本方針を確認しましたが、特に現行のJVA-MRSがシステムの変更を行うということで、同日に行われた研修会だけでなく、競技委員会の中でも確認がなされました。実際に運用が始まないと分からない部分が多く、混乱が予想されますが、各カテゴリーにおいて周知をお願いしていくこととなりました。

平成 30 年度も競技日程が立て込んでいますが、ご協力をお願い致します。

県強化委員会開催！ 2027 長野国体対策を検討

【県強化副委員長 村上里志】

2月25日（日）夕刻、塩尻市において県強化委員会が開催され、2018 福井国体に向けての強化策と、2027 長野国体に向けての中長期強化策について白熱した議論が展開されました。



成年種別については、県内Vリーグ勢、またはVリーグ入りを目指しているチームをバックアップし、引き続き核となるベースチームを育成していくことを確認しました。

少年種別は「選抜」を基本に若手指導者育成とスタッフの充実を当面の課題としながら、2027 長野国体に向け、早期に「オール長野」体制を構築することとしました。併せて、長野国体ターゲットエイジ（小学1～3年生）のタレント発掘・育成を視野に「小⇄中⇄高」の連携を更に強化していくことを確認しました。

ビーチにおいては、少年種別への移行（2019 茨城国体～）対応として、ビーチ中学生大会の充実を図るなど、中学生段階からビーチに慣れ親しんだ選手を育成していくことと、高校強化校の指定を行うことなどが確認されました。また、練習環境の整備（ビーチコートの増設）については、2027 長野国体の種目会場割り付け状況を睨みながら、当該市町村へ働きかけていくこととしました。

岡谷工業高等学校バレーボール部OB会

創立50周年記念祝賀会が開催される

【県協会副会長 江村恵一】

岡谷工業高等学校バレーボール部OB会が創立50周年を迎え、17日（土）に岡谷市のライフプラザマリオで記念祝賀会が開催されました。



OB会は1967年の長野インターハイに岡エバレー部が開催地2校枠で全国大会に出場し際、開会式入場行進の旗が小さかったため、大きな旗を作ろう！と行った寄付集めがきっかけで発足しました。

また、OB会発足当時、バレー部の無い企業が多くあり、それではOB会のチームを作ろう！という話から、岡エクラブが発足しました。

岡エクラブが、岡工の体育館で現役チームと練習試合を重ねることで、互いにレベルアップが図られ1972年京都で開催された『全日本9人制総合選手権

大会』で勝ち進み、準決勝で優勝した九州電力に1対2で敗れましたが、3位入賞を果たしました。

その後も、6人制・9人制の県大会で常に上位入賞を果たし、現在もチームOKAYAと名前を変えて活動を続けています。

祝賀会では、小口岡谷市副市長をはじめ（公財）岡谷市体育協会、（一財）長野県バレーボール協会、諏訪湖周辺バレーボール協会、（一社）岡谷工業高等学校同窓会の来賓の皆様と会員・学校関係者・保護者会合計70人が出席しました。

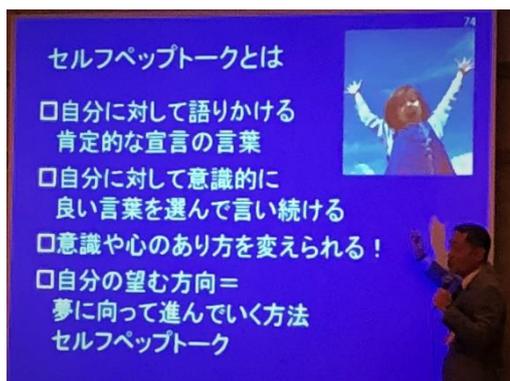
祝賀会に先立ち、岡エバレー部現役選手も午前中、元全日本選手・ソウル五輪出場の井上譲氏に指導して戴いた後会場に駆けつけ、壇上で『全国大会出場に向け日々切磋琢磨していく。』と力強い決意を表明しました。

祝賀会では、半世紀の歴史を祝うと共に、岡エバレー部の名門復活に今以上の支援を続けていくことを誓い合いました。

2017Progress Plan 「ペップトーク講習会」を開催しました

【長水協会理事長 竹内 護】

2月10日（土）13：00～長野市立篠ノ井西中学校において『ペップトーク講習会』を開催しました。



この講習会は、長水バレーボール協会が主催し、長野県実業団連盟、家庭婦人連盟、小学生連盟、指導普及委員会及び強化委員会プログレスプランの協力も得て開催する運びとなりました。

今回の講師『岩崎由純』氏は、バレーボールVプレミアリーグNECレッドロケッツのトレーナーを務めていらっしゃいましたが、バレーボール以外にも多くのメダリスト達に施術を行ってきた実績のある方です。

同時に（一財）日本ペップトーク普及協会代表理事を務められ、多種多様なスポーツ指導や教育現場、親子関係の改善等にかかわって、多くの講演活動を積み重ねていらっしゃいます。

『ペップトーク』とは、もともとアメリカで試合前などに選手を励ますために行われる『短くて』『わかりやすく』『肯定的な』言葉で行われる『魂を揺さぶる』言葉がけです。日本を代表するアスレチックトレーナーでもある講師が、アメリカのスポーツ現場で学んだ『勇気を与える感動の言葉がけ』を私たちが応援したい身近な人々に伝えるためのスキルです。

キーワードは『ポジティブストローク』。今までの指導や教育の現場では、知らず知らずのうちに私たち指導者の発する言葉が、サポーターであったはずなのに、いつの間にか『ドリームキラー』としての言葉掛けになっていたかとの御指摘です。

岩崎講師は、数多くの事例やエピソードから、大変わかりやすく『望ましい選手への関わり方』を示してくださいました。40名弱の出席者は、時に笑い、感動し、涙しながらも、明日の自分がすぐできることは何かを考えさせられる貴重な時間を過ごすことができました。

こうした研修を継続することが、暴言や体罰に頼らずに成果を上げてゆく指導法のヒントになると考えます。大変好評な研修会ですので、何とか来年度も開催したいと考えております。関係各位のご協力のほどよろしくお願い致します。また、リピーターも歓迎致します。開催が実現できた折には、できるだけたくさんの方のご参加を期待しております。

2017Progress Plan 「スポーツ栄養学」講習会を開催

【県強化委員 唐沢浩一】



2月3日（土）・4日（日）に、安曇野市立三郷中学校他で行われた第32回全国都道府県対抗中学バレーボール大会長野県男子2次選考会の中で、上條治子先生<懶魚国総本社 管理栄養士 公認スポーツ栄養士>を講師にお迎えし、「スポーツ栄養学」を行いました。上條先生は、数年前から長野県中学男子選抜チームへの支援を継続的に行ってくださっている力強いチームサポーターの一人です。



ジュニア世代の選手たちへ、栄養学の基本から将来に生きる身体作りを日常生活の場面に例えながら分かりやすくお話を頂きました。又、試食の場面もあり、食事の大切さについて体験をもって学ぶ良い機会となりました。会場には、中学1・2年生の選手、保護者及び選考委員等、約200名が熱心に聞き入っていました。

本講習会から Progress Plan（長野県指導者講習会）2018年の活動が始まりました。本年も各講習会へ数多くの指導者にご参加頂き、本事業が更に充実・発展したものになるようお願い申し上げます。

訂正及びお詫び

NVA ニュース 2月号の中学エプソン杯の記事、「臼田町立臼田中学校」とあるのは、「佐久市立臼田中学校」の間違いでした。又、「南箕輪町立南箕輪中学校」とあるのも「南箕輪村立南箕輪中学校」の間違いでした。訂正してお詫び申し上げます。

2月 試合結果

- ☆ 2017/18 V・チャレンジリーグⅡ男子須坂大会
<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/30.2.3vc12suzaka.pdf>

- ☆ 第18回北信越高等学校新人バレーボール大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/30.2.9hokusinetsu_kokosinjin.pdf

- ☆ 2017/18 V・チャレンジリーグⅠ男子佐久大会
<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/30.2.10vc11saku.pdf>

- ☆ モルテン杯第12回クラブVB9人制選手権大会県予選会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/30.2.11molten_9club.pdf

3月 スケジュール

| | | | |
|-----|---------------|---|-------|
| 1. | 3/3(土) | 正・副会長、専務・常務理事、委員長会議 | (松本市) |
| 2. | 3/3(土)～4(日) | 全国競技委員長・加盟団体競技委員長会議 研修会 | (東京都) |
| 3. | 3/4(日) | 第12回長野米カップ長野県小学生バレーボール大会 | (長野市) |
| 4. | 3/10(土) | 長野県バレーボール協会 第82回理事会・第14回代表委員総会 | (辰野町) |
| 5. | 3/11(日) | 長野県13地区対抗6人制バレーボール選手権大会(U12) | (伊那市) |
| 6. | 3/17(土)～18(日) | 菅公学生服杯 第16回北信越中学新人バレーボール優勝大会 | (新潟県) |
| 7. | 3/20(火) | 第82回国民体育大会・第27回障害者スポーツ大会準備委員会 第1回総務企画専門委員会 | (長野市) |
| 8. | 3/24(土) | 審判規則委員会 合同会議・全国審判委員長会議 | (東京都) |
| 9. | 3/24(土)～25(日) | モルテン杯 第12回北信越クラブ9人制選手権大会 | (新潟県) |
| 10. | 3/25(日) | 全国6人制審判講習会 | (東京都) |
| 11. | 3/26(月) | 長野県体育協会 平成29年度第4回総務専門委員会 | (長野市) |